

(令和6年10月10日発表)

「高齢期をどう生きるのか」 みのり大学合同講演会開催

◆ アピールポイント	◎高齢者学級「みのり大学」全 16 学級の学級生 <u>約900人</u>が一堂に会する講演会です。 ◎講師の静岡大学名誉教授小櫻義明さんは、大学では「静岡地域学」をテーマに研究され、現在は地域福祉のボランティア活動や高齢者向けの活動にも従事されています。 ◎「高齢期をどう生きるのか」「どういう社会とのかかわり方があるのか」、高齢者の生き方への提言や参加者が自身の生き方について熟考できる講演会です。
◆ 日時・期間	令和6年 10 月 17 日（木）午後1時30分～3時30分
◆ 場 所	静岡市民文化会館 大ホール（葵区駿府町2番90号）
◆ 内容など	1 主催者挨拶 市民局長 2 講演 3 お礼の言葉 ■講演 演題 「高齢期」を私たちはどう生きるか —「老い」と「死」を見据えながら、「社会」とかかわる— こざくらよしあき 講師：小櫻義明さん（静岡大学名誉教授） ■みのり大学とは 静岡市が社会教育事業として実施している高齢者学級です。高齢者が新たな知識、技術を学ぶと共に、仲間づくりや異なる世代間の交流をとおし、豊かな人生を送ることを目的とした連続講座（各学級 18 回）で、葵区、駿河区の生涯学習センター等で16学級開講されています。
◆ 対象・人数	みのり大学 全学級生 16 学級 約900人
◆ その他	一般聴講者の募集はありません

別紙資料 有

ぜひ当日取材をお願いします。

【問合せ】生涯学習推進課 人づくり事業推進係
（静岡庁舎新館 15 階）
担当 小山 村田
電話 054-221-1207

講師プロフィール

小櫻 義明（こざくら よしあき） 氏



1945年、広島県生まれ。1974年、京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。同年、静岡大学人文学部経済学科へ赴任し、「静岡地域学」を生涯のテーマとする。以来、専門分野にこだわることなく、アカデミズムに背を向け、自治体の政策・施策・事業の研究調査を行い、静岡県や静岡市などの自治体の各種の委員も数多く歴任。

静岡県内の地域づくり団体の交流や、先進事例の視察・調査を行い、助言者・講師としても活動。静岡市の過疎山村の限界集落で住民と共に「むらおこし」も始める。2007年、妻や妻の母の介護を行うため、大学を早期退職。地域の民生委員・児童委員を3期（12年）務め、地域福祉のボランティア活動や高齢者向けの活動に従事する。

主な著書

- ・地方中核都市の街づくりと政策 ※共著 （信山社）1995
- ・「介護恋愛論」（日本医療企画）2017
—愛する心を持ち 愛する技術を磨く—
- ・「静岡地域学」事始（静岡新聞社）2023
—静岡県 静岡市・浜松市の特性と課題—
- ・「高齢期」を私たちはどう生きるか （日本医療企画）2024
—「若い」と「死」を見据えながら、「社会」とかかわる—